

**放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)**

公表:平成31年4月23日

事業所名 放課後等デイサービス ゆにこ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		利用人数が多い時は空間を分けて過ごしている	
	2	職員の配置数は適切である	○			基準を満たした配置を行っているが、今後はスタッフ育成にも力を入れていきたい
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			バリアフリーではあるが、利用する子どもに適したサイズでない部分もあるので、台を使用したりサイズの小さいものを組み合わせたりして工夫している
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		個々に対してGPDCAシートによる目標管理を実施	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		各事業所の自己評価に基づき、法人単位で結果の見直しを行っていく
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		社内研修の実施や外部研修情報の周知及び費用助成	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			常勤職員全員によるモニタリングの内容に関する支援会議、それに基づく計画の作成、保護者との面談を行っている
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		事業所独自のアセスメントシートを作成し、適宜更新を行っている	更新漏れがないかの見直しを行う
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		毎月、活動に関する会議を実施	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			今年度は、プログラムの大きな見直しを行う
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			全体の活動があり、その中で個人の課題に対するアプローチを行っている
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			活動前にミーティングを行い、フレームワーク化した最新の情報を全員で共有している
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			活動後、スタッフ全員で振り返りを行い、以後の支援につなげるようにしている
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			スタッフによって書き方に差が出ないように教育を行っていく
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○			

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している		○		事前に会議で伝えたい内容、聞きたい内容などを共有せずに参画することがないように事業所としての意見をまとめて参画するようにする
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている		○		学校側の個人情報の関係で、知らせてもらえない部分もあり、そこに関しては保護者に教えてもらっている
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		今年度受け入れはあったが、事業所でのケアは行わない為連絡体制はとっていない
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		保育所等との直接情報交換は行っていない
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		実績はないが、卒業を迎えた利用者の保護者に対して終結のモニタリングを行い、次のサービスに対して提供してもらうように伝えている
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			特に専門的見地が必要な場合は、保護者の同意を得て大津市発達支援センター等の専門機関に助言を依頼している
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		情報交換は行っている	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			大津市自立支援協議会、大津市学齢期プロジェクトなどへの参加を行っている
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			連絡帳や送迎時の引継ぎでの情報共有、必要に応じて電話でのやりとりや面談を実施
保護者 への説明 責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		発達に即した子どもの見方など家庭の状況も踏まえながら伝えるようにしている	より深めていきたい
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			契約時に行っており、単価変更等があれば適宜通知している
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			相談があればその都度対応、必要に応じて助言を行っている
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			苦情窓口について重要事項説明書に記載、契約時に苦情受付の流れを説明し、怪我等の場合は滋賀県への報告を行っている
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			毎月広報誌を配布、利用料金の変更時や、事業所への連絡方法についても適宜紙面にて配布
	35	個人情報に十分注意している	○			利用者氏名に関しては3コードを使用し、暗号化、また、使用範囲については契約時に説明している
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			事業所のある地域の「人権・生涯」学習推進協議会連合会に招待してもらい、放課後等デイサービスの紹介を行った

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○		マニュアルはあるが周知されていないので、適宜の更新を行うと共に、周知を行っていく
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		○		次年度より、定期的に訓練を行っていく
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている		○		適切な対応をしているが次年度より研修を定期的に行い、適切な対応が共有できるようにしていく
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		保護者から独自に聞いての対応を行っている。毎年の更新はしていないので、今後行っていく
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			